

園の教育活動や園運営について目標とすべき課題を設定し、その達成状況を話し合いながら自己評価をし、組織的かつ継続的な改善を図る。また子どもたちの日々の活動に対して幼稚園関係者による評価を受けるとともに評価結果を共有することにより、保護者や地域住民の方々の理解と協力を得て、園・家庭・地域の連携体制による幼稚園づくりを進めることを目的としています。

(Ⅰ) 建学の精神

「梅檀はふたばより香ばし」

子どもたちの育ちには幼児期の(ふたばの時期)の環境が最も大切

(Ⅱ) コンセプト

「ひとつ芽生えてまたひとつ」

身の回りの事象に興味・関心をもつことが、次へのステップアップに最も重要

(Ⅲ) 教育目標

- ◆みんな仲良く (時には喧嘩も必要、そして相手を認めることの大切さを知ろう)
- ◆強い心と体で (強い意志をもって行動することは強い体をつくること)
- ◆最後までやりぬこう (途中で投げ出さず最後までやりぬき、完成の喜び味わおう)

上記(Ⅰ)～(Ⅲ)を根底において、将来を担う子どもたちを教育することを目指しています。

(Ⅳ)令和2年度 園の重点目標

- ◆自分の思いを素直に表現できる子になろう。

(Ⅴ)令和2年度 各学年の重点目標

	重点目標	達成するために取り組むこと	結果
満3歳児	・保育者との安定した関わりの中で、自分の気持ちを表現できるようになる。	・保育者が子どもたちと時間をかけて、寄り添いながら関わりを持ち、自分の気持ちが表現できるようになるよう関わる。	・一年をかけてほとんどの子が、自分の気持ちを言葉にして伝えられるようになった。それがすぐにできない時には保育者から話をすることで、言えるようになった。
年少組・3歳児	・自分の思いを伸び伸びと表現しながら、好きな遊びや活動を楽しむ。	・伸び伸びと表現できるよう、様々な遊びや活動が出来る環境を整える。  ・思いを担任に伝えられるよう、子どもたちの思いを受け止め、表現することに自信が持てるようにする。	・友だちとの会話の中で自分の作ったものや描いたものを自ら相手に伝えられるようになった。保育者に自分で考えた答えを伝えられるようになった。その経験から、遊びの場面以外でも自分の気持ちを言葉で表現できるようになった。  ・身体で表現する楽しさを味わい、曲の間奏の部分でも自由に踊ってみようという声掛けにも、それぞれが表現して楽しむことができた。

	重点目標	達成するために取り組むこと	結果
年中組・4歳児	・いろいろな表現活動に取り組む、自分の考えたイメージを様々な方法で表現しようとする。	・様々な活動の中で子ども一人ひとりに対し、自らの思った事や考えたことを聞く場面を増やしていく。その中で子どもたちが自信を持って、安心して表現できるように子どもたちの気持ちを汲みながら、発言した言葉を受け入れる。	・初めは特定の子しか挙手できなかったが、何回も回答する場を経験するうちに、多くの子がみんなの前で発言できるようになった。  ・子どもたち自身が考え、他児と違う場合でも表現できるようになった。  ・初めは他児の真似をする子もいたが、保育者の言葉がけを聞いて少しずつ、自分の思ったように描いたり作ることができるようになった。
年長組・5歳児	・自分の思いを他児の前で言葉にして伝える。	・様々な活動や遊びの中で自分の思いを表現し、友だちの思いを受け止められるようにする。その中で他児の前に立ち、自分の意見を発言できるよう配慮する。	・初めは恥ずかしそうにする姿や自分の言葉で伝えられない姿が見られた。毎日続けていくことで、好きな食べ物や色などの簡単なテーマから、これから頑張りたいことや出来なかったことが出来るようになったことなど、具体的に答えるテーマまで、自分の気持ちをみんなの前で発表できるようになった。  ・他の友だちが発表したことと同じことを言う子が多く、「どのように」「なぜ」という事を、自分の言葉で文章にして伝えることに難しさを感じる子もいた。  ・制作活動に取り組む中で、それぞれの気持ちや考えを伝えられるようになってきた。発言することに対する得意不得意もあるが、思いを伝える経験は重ねられた。

(VI) 取り組みへのステップ

①	今年度の重点目標・自己評価項目の設定	年度初め
②	重点目標・自己評価項目の達成に向けた取り組み	年度初め～3学期末
③	学校関係者評価委員との関わり	期中
④	自己評価の実施	12月末・3月末
⑤	学校関係者評価の実施	3月中旬
⑥	該当年度決算書と学校評価結果報告書の作成	4月下旬
⑦	事業の取り組みと会計処理について公認会計士の監査を受ける	5月下旬
⑧	学校評価報告書をホームページにアップする	6月上旬

(VII) 教員の自己評価項目及び結果

評価結果(平均値)とその項目数

	評価結果(平均値)					評価
	項目数	A	B	C	D	
1、園の基本姿勢についてのチェック	10	1	6	2	0	B
2、教師としての資質や能力・良識・適性、保護者への対応のチェック	35	11	17	7	1	B
3、保育の在り方・幼児への対応のチェック	30	7	16	6	1	B
4、地域の自然や社会との関わり、研修と研究のチェック	20	3	8	8	1	B
5、保育の計画性のチェック	5	0	3	1	0	B

上記は各項目に対する自己評価の結果を集計したものである。

(Ⅷ)2回の自己評価を終えて

職員それぞれが年間2回の自己評価を通して職員同士の連携や資質向上、安全管理の強化や施設設備の充実等に真剣に取り組む、園として、また学年の重点目標の指導についてはおおむね達成できた。自己評価の各項目の集計結果、十分でなかった点、特に評価の低かった項目については今後取り組むべき課題として継続的に取り組み、各課題をクリアできるように各自努力し、その努力が実って、質の良い保育を行えるように取り組んでいきたい。

財務状況：令和3年、監査法人の監査により、予算・事業ともに適正に実施されていると認められている。

◇日常の保育等についての学校関係者・評価委員、評価と意見◇

評価者(1)

◇行事について

今年はコロナ禍の中、様々な対策を施して行事に取り組んでもらえたので良かったです。規模縮小とはなりましたが、子どもたちの姿を見ることができました。

◇日常の保育について

お弁当の日や持ち物の期日を早めに知らせてくれるので助かります。

◇その他

ふたば幼稚園のブログは毎日のように更新されていますが、時々更新されない日があるのが気になります。動画配信が見られれば良いと思います。

評価者(2)

◇幼稚園について

担任の先生だけでなく、他の全ての職員が一人一人の名前・顔・兄弟のことも知り、声をかけてくれるので嬉しく思います。アットホームで温かい雰囲気がふたば幼稚園の良さだと思います。新任から若い先生が多いので一生懸命なのは感謝しますが、2歳児以外のクラスにもベテランの先生がいてくださると安心できます。

◇行事について

コロナ禍のなかでもいろいろと考えて実施していただき有難いです。年長組キャンプ・夏祭り・運動会は不可能かと思っていたので、開催していただき感謝の気持ちでいっぱいです。

◇預かり保育について

預かり保育でのおやつの内容が年齢に応じているのかと、少し気になります。

評価者(3)

◇行事について

ふたば会役員や、係の行事として、各家庭それぞれが行事のお手伝いをする事ができ、少しでも協力することができました。またコロナ禍でしたが、開催できるようにと園がいろいろとカバーしていただき感謝しています。